



学校だより

入善町立飯野小学校

令和4年5月20日

子供たちが躍動する5月 ～ 子供の成長のために私たちができること～

体験することの意味

校長 中 英美

今年度は、感染症対策を講じながら、ようやく様々な教育活動を実施できるようになりました。本校でも校外学習や田植え体験学習を行ったり6月には4年生の宿泊学習を予定したりと、計画通りの体験学習を再開しています。

体験学習を実施していつも感じるのは、子供たちの目の輝きが違うということです。本物に触れ、実際に体験したからこそ、心が動き、何かを感じ、考え、つかんでいるのだと思います。

5月17日(火)に行った田植え体験学習では、朝から「泥だらけになるから最悪」「ヒルがいるから嫌だな」というネガティブな言葉が多く聞かれました。未知のものに対する不安や必要感を感じないことへ不満をもつのは、誰しもあることです。でも、実際に田植えが始まると、泥沼地獄にはまり悪戦苦闘しながらも、笑顔で一生懸命に取り組む子供の姿がたくさん見られました。

泥の感触、泥から足をぬくコツ、手植えの大変さ、農家の方の苦勞、友達と助け合うことの喜び、体験させてくださったJAのみなさんへの感謝、泥だらけになってもがんばったことへの自信、汚れた服を洗ってくださる家の人への感謝等、それぞれが体験したからこそ実感できたことです。

現在、ICTの普及により「間接体験」や「疑似体験」ができるようになりましたが、子供たちの健やかな成長のためには、このような「実体験」がとても大切です。知っているつもり、やったつもりではなく、全身を使って感じ・考え・行動することで、真の思考力・判断力・表現力を身に付けることができるのが体験活動なのです。

家庭でのお手伝いや地域活動への参加も体験活動の一つです。子供たちが豊かに成長することを願って、学校、家庭、地域が連携し、体験活動の機会を設けていくことができるよう、今後ともご協力をお願いします。



自分の命を自分で守ります！ 交通安全教室、自転車乗り方教室、こども防犯教室



入善警察署・飯野駐在所から2名の警察官、黒東交通安全協会から5名の方々に来ていただき、1・2年生は、4月14日に安全な歩行、3年生は、4月25日に自転車検定の交通安全教室を行いました。子供たちは、自分の命を自分で守るために安全を確認すること等、交通安全における正しい行動の仕方を学びました。



5月6日には、1・2年生を対象に、こども防犯教室をしました。富山県子ども安全サポーターの3名の方に、危険な場所や知らない人から声をかけられたときの断り方等を教えていただきました。「い・か・の・お・す・し」の合い言葉を覚えて、犯罪から身を守る行動の仕方を再確認をしました。

個別懇談会ありがとうございました 5月11日(水)～13日(金)

4月の学習参観の代わりに行った個別懇談会。学校では、子供の様子が少し見えてきたところなので、とても有意義な機会となりました。お互いに顔を見て話すことにより、少し親近感が湧き、これからの情報交換もしやすくなったのではないかと思います。これからも、子供を真ん中において、学校と家庭とが様々な連絡を取り合っていけたらと思います。よろしくお願いいたします。



練習にも熱が！ もうすぐ入善町小学校体育大会 5月25日(水)開催予定

朝から、試雷管(ピストル)の音が鳴り響き、町体育大会に向けて本番さながらの練習を行っています。走り方もハードルの跳び方も上達してきた子供たち。当日は、スタートラインに立つ緊張感と町内の同級生と競い合う楽しさを味わってほしいです。



ほっとタイム



*先生方のほっとする一言を紹介します！

「ユリの花の思い出」

山崎 英政

夏になると思い出されるのが、ユリの花の香りです。ユリの花は、小学生の頃、家の周りのあちこちに咲いていたものです。「なんて甘い香りなのだろう」と顔を近づけたとたん、チクッ。なんと、花びらの裏に隠れていたハチに刺されてしまいました。ユリの季節には、香りとともに、ほろ苦い思い出がよみがえります。

ベルマーク回収にご協力を！

児童会では、今年度もベルマークを集めています。ご家庭にありましたら、随時学校へ持たせてください。ご協力よろしくお願いいたします！

